第27回組合員女性研修会

ちらちらと雪が舞い降り始めた11月1・2日の2日間、今年で27回を迎えた組合員女性研修会は、全道各地から32名（内6名が初参加）の参加を得て開催致しました。

【昼食懇親会】江別市

札幌駅集合後、先ず江別市にある『北海道夢工房トンデンファーム』へと向いました。昼食会場の隣にある直売店で買い物をしたあと、自家製ソーセージやジンギスカンなどのバイキングを楽しみました。

【株式会社Kalm角山】江別市

研修では、川口谷専務と百瀬代表夫人に案内して頂き、初めに川口谷専務よりフリーストール牛舎バルク室で牧場の概要を説明して頂きました。

バルク室で真剣に聞き入る参加者

株式会社Kalm角山は道内でも有数の酪農地帯である石狩管内江別市に位置し、数戸の酪農家が協業法人となることでスケールメリットを生かし、作業能率の向上と生産コストの削減を図るとともに農畜産物の産地競争力を高め、地域の発展に貢献することを目的に2015年8月に稼動しました。現在は搾乳牛360頭を8基の搾乳ロボットで搾乳しており、平成30年度には搾乳牛480頭、年間出荷乳量5,600トンを目標としています。施設は480頭フリーストール牛舎、100頭哺育牛舎、バイオガスプラントを所有しており、雌子牛は大樹町の育成牛牧場へ売却し、受胎後に買い戻すシステムを採用しているとのことでした。

概要説明の後は施設内を移動しながらの研修となりました。バルク室内では生乳分析システム「ハードナビゲーター」に注目しました。これは生乳サンプルを自動的に採取・分析し、乳中の成分から得られる情報を繁殖管理・健康管理に利用するもので、これにより繁殖面では発情検知及び受胎の有無と生殖器の状態、健康面では栄養状態及び乳房内状態（乳房炎の発見）を把握し、人の目による観察と比較して「より早く」「より確実に」対応でき、人的・時間的労力を大幅に削減しているとのことでした。

搾乳ロボット「VMS」を前に

フリーストール牛舎内で次に向かったのは搾乳ロボット「VMS」で、8基が稼動しているのは日本初、アジアでは最大規模とのことでした。1頭あたりの搾乳回数は2.4～2.7回/24時間で、搾乳間隔は泌乳量及び分娩後日数によって4～11時間。視察中も途切れることなく次々と搾乳される光景と、ティートカップを1本1本確実に装着し、クローの向きを微調整する繊細さに参加者の皆さんの目も釘付けとなっておりました。

次に飼槽の方へ移動すると、自動餌押し機「バトラーフィードプッシャー」が作動している最中でした。また、ストール内へ目を向けると、これまた自動の「スイングカウブラシ」でブラッシングされている牛がとても気持ち良さそうにしておりました。ただ、一度ブラッシングが始まると、自動停止した後もその場から離れようとせず、周りの牛たちは今か今かと自分の順番を待っているようでした。

フリーストール牛舎から外に出て、次にバイオガスプラントの概要説明を受けました。発電出力は150kw、熱出力は179kwで、バイオガスにより発電された電力は、全量が買取りの対象で、緊急時の非常用電源に使用することは出来ないとのことでした。また、発生した熱は、発酵促進の為に原料の加温に利用されているそうです。

哺育牛舎 内部

次は哺育牛舎の前へ移動し、ここからは百瀬代表夫人に説明して頂き

ました。通常は防疫の関係上、哺育牛舎内の見学を断っているとのことでしたが、この日は特別に許可を得ることが出来、中へと案内して頂きました。夫人は哺育牛約100頭を収容できるこの哺育牛舎の作業を一手に担っており、普段から哺育作業をこなしているであろう参加者の皆さんからの活発な質問に笑顔で返答して下さいました。

最後に、案内をして頂いた川口谷専務と百瀬代表夫人を囲んで記念撮影し牧場を後にしました。

川口谷専務と百瀬代表夫人を囲んで

【町村農場ミルクガーデン】江別市

次に訪れたのは、株式会社Kalm角山からバスで10分程の所に位置する『町村農場ミルクガーデン』。開放感あふれる建物のカフェスペースで、コーヒーやドーナツを楽しむ方や、限定商品のチーズケーキや飲むヨーグルトをお土産に購入している方もおりました。

町村農場ミルクガーデン

【シャトレーゼガトーキングダムサッポロ】札幌市

今回の宿泊先は、札幌市内にある『シャトレーゼガトーキングダムサッポロ』、このホテルは2002年に札幌テルメから今のシャトレーゼガトーキングダムサッポロに名称を変えた健康保養施設で、スパやプールも充実しており、女性に嬉しい癒しの空間を楽しめる温泉施設です。

懇親会では、景品をかけてテーブル対抗の真剣勝負のゲームや、毎年好評の心のこもったプレゼント交換、関係団体より協賛いただいた商品の抽選会も行いながら季節の料理とお酒を楽しみました。終始笑い声が絶えることのない賑やかな会となりました。

夕食懇親会の様子

【雪印メグミルク㈱札幌工場】札幌市

研修の２日目は『雪印メグミルク札幌工場・酪農と乳の歴史館』の見学でした。

勝源神社前で

朝が早かったせいなのか、少しお疲れ気味にも感じられましたが、歴史館入口の世界各国から集められたカウベルの優しい音が目覚まし代わり？見学が始まると、皆さん熱心にアテンダントの説明に耳を傾けておられました。北海道酪農や現在の雪印メグミルクが設立されるまでの歴史を学び、昔の製造機器や最新のオートメーション化された製造ラインの見学は、たいへん興味深く有意義なものだったと感じております。

皆さんご存知の『未来はミルクの中にある』は雪印メグミルクのキャッチフレーズですが、ミルク仲間の集いは、きっとミルク仲間を明るい未来へと導いてくれることでしょう。この研修が北海道酪農の明るい未来につながれば幸いです。

皆様にご協力頂いたアンケートを基に、今後の研修をより良いものにと考えておりますので、今回ご参加いただいた皆さん、まだ参加したことのないあなた！次回のご参加を心よりお待ちしております♪♪

最後になりましたが、この研修会の取りまとめにご協力いただきました関係者の方々に深く御礼申し上げます。

（総務部　坂田・天谷・石田）